



最後のヒュッテ大工事

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

コロナ、ウクライナのこととは書くまい。
でも・・・

昨年並みと思われたヒュッテの降雪も、最後に降った近來稀にみる大雪で、ヒュッテ前の看板が埋もれてしまいました。四月の末で林道半分までしか車が入れず連休明けには車は無理でしょう。それでもヒュッテ前の川は春の音をたててさらさら流れています。上水道の取水口も問題なくヒュッテまで水を運んでいます。トイレの軒先は更に折れ曲がりましたが、その他は大きな損傷はありません。夕張市教育委員会との協議は終わっていませんが、今シーズンの宿泊自粛はぜひとも回避したいものです。

大切な総会も、代表と事務局長の判断で今年度も開かないことになりました。当初はヒュッテでと考えていましたが、車で入ることが出来ず、日程の調整もつかなかったため、紙面による通知としました。会員の総意で会の意思決定を決めることが出来ず残念です。お許しください。

第117号

2022.06.06 発行

(令和4年)

ユウパリコザクラの会

事務局(菊地)

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

 https://www.facebook.com/

yuparikozakura/

さて長く続いているヒュッテの工事も炊事棟の暖炉建設とそれに付随する工事で大きな工事は終わります。薪割は相変わらずまだまだ続きます。皆様のご協力を切にお願いいたします。

山の方ですが昨年秋朽ちた木道を下げやすくするためにカットして、前岳湿原に集積しました。今年ヒュッテまで下ろす作業があります。一般登山者の協力を得て下げたいと思っておりますが、その段取りをするために頻繁に登らなくてはなりません。また我々も精力的に荷下げ作業をしなければなりません。ヒュッテには背負子がたくさんあります。ご協力をお願いいたします。

やっぱり書きます。ウクライナへのロシアの侵攻、どう考えても肯定することは出来ません。国連の安全保障理事会で、非常任国特にアフリカ・南米の諸国がロシアへの制裁に賛成していかないのはなぜか？フランス・イギリス・オランダ、スペイン等西諸国が、我日本も過去において、今のロシアと同じことをアフリカ・南米・東南アジアでやってきたではないか。制裁を主動する国の意見に、今にわかに賛同できないとして、制裁に同意してはいないと思う。

以前オーストラリアの首都キャンベラの博物館で、日本兵が日本刀で首をはねている写真の展示を見たことがあります。あの時の衝撃は今でも忘れることは出来ません。

戦争に正義も悪もない。一人の命を助けるために必死な活動しているのに、方や人殺し兵器を人に向けて発射している事実。同じ人間がやっていることは思えないが、太古の昔から人間の争いは絶えることが無いという。戦争と便利さの追求は人類が減びるまで無くならないのか、空しい思いだけが残る。

コロナ状オーロラはきれいでまた見たいですが、今のコロナ禍はもういいです。人類で伝染病を絶滅させたのは、ジェンナーの天然痘だけだと言われています。あとは収まってもまた出てきます。飽くなき戦いになると思います。山のヒュッテでは完全なる感染防止は難しいですが、少しでも感染を抑える努力をしなければなりませんね。

会報発行遅れのお詫び

ユウパリコザクラの会 広報担当

本来であれば、ユウパリコザクラの会会報「こざくらだより」No.117号につきましては、新年に発行し、代表の新年の挨拶で始まる事を通例としておりましたが、マンパワー不足などの問題により発行が遅れてしまいました。

会員の方々の中からも一部ご心配をいただいております。申し訳ございません。

エゾシカ観察定点カメラレポート

2年前より、3台のフィールドカメラをエゾシカ観察用として設置しています。1台目は吹き通し、2台目は1400mの湿原、3台目は前岳湿原に設置しており、概ね現地の雪解けが終わる7月上旬から9月中旬まで稼働しています。乾電池で動作しており、モーション検知機能でカメラの前で動いたものに反応し撮影します。夜間の撮影はモノクロ、昼間はカラーで撮影されます。いずれの地点でも多数のエゾシカが撮影されていますが、エゾシカ以外にもリス、ウサギやキツネ、テナンのような小動物からヒグマも撮影されます。以下20年度分と、21年度分の撮影された写真になります。エゾシカは日中ほとんど見かける事はありませんが、行動時間が早朝や夕方・深夜がほとんどです。ヒグマについては昼間でも撮影されていますし、実際日中の目撃があります。データについては累積して食害調査と共に管理する予定です。

2021年度 出現日数と頭数の集計 (集計：加藤 聡)

カメラ設置場所①：吹き通し						
撮影された日	エゾシカ	ウサギ	キタキツネ	ヒグマ	その他	
7月 20日間	17日 43頭	4日 4頭	3日 3頭	5日 6頭		
8月 11日間	8日 21頭		3日 3頭			
カメラ設置場所②：1400m湿原 (第2崩壊地)						
撮影された日	エゾシカ	ウサギ	キタキツネ	ヒグマ	その他	
7月 11日間	11日 30頭	2日 2頭			シマリス	
8月	カメラ転倒の為撮影できず					
カメラ設置場所③：前岳湿原						
撮影された日	エゾシカ	ウサギ	キタキツネ	ヒグマ	その他	
7月 8月	カメラ不調の為撮影できず					



2020年吹き通しのエゾシカ



2020年1400m湿原 キタキツネ



2020年前岳湿原のエゾシカ



2020年1400m湿原 ヒグマ



2020年1400m湿原 エゾユキウサギ



2020年1400m湿原 エゾシカ



2021年1400m湿原 エゾシカ



2020年吹き通しのエゾシカ



2021年1400m湿原 エゾシカ



2021年
吹き通し
ヒグマ



2021年1400m湿原 ヒグマ



左同地点 ヒグマ(左と違う個体)

白金川探索紀

夕張岳森林鉄道跡の探検 塚 俊樹

白金川は「しらきん」「しろかね」「しらがね」「はつきん」などのいろいろな俗称?で呼ばれます。国土地理院の2万5千分一地形図には「しろがねがわ」とあり、これが正式名称と思われま。私は、夕張岳の岩石・鉱物に興味があり、10年以上に渡り白金川に毎年訪れています。白金川は夕張岳の蛇紋岩体を最も大きく削剥している川で(図1)、夕張岳の蛇紋岩を良く観察できるところです。林道が途中で崩れ奥まで入れず、なるべく短時間で奥地へ行く方法として、「夕張岳森林鉄道」跡を歩くのはいかがでしょうかと思いました。



図1: 夕張岳の蛇紋岩体と削剥域

夕張岳南東の断崖で露れた蛇紋岩体は、夕張岳の蛇紋岩等と異なると見なし、図示省略。地理院地形図をベースに情報付加。蛇紋岩体分布域はシームレス地質図をベースとした。



意外に状態が良い廃線跡。夕張岳森林鉄道は昭和17年から39年まで、木材を搬出する鉄道として運行されました。過去の地形図を見るに、廃線後は昭和50年代まで道路だった可能性がありますが、川の削剥で部分的に崩れています。が、長い間放置されている割には概ね歩いてしまおうのが驚きでした。鉄橋を渡すことで白金川の蛇行をショートカットしながら奥へ延びており、白金川を遡行するより早いです。鉄橋は落ちていて渡河が必要ですが、夏は湧水ゆえ長靴で渡れます。傾斜が少なく水平堅牢な土台は健在動物たちにとっても歩きやすいのか鹿道化しています。思っていた程には時間も体力も消耗せずに目的地に到着できました。

廃線跡では都市部では見られなくなった光景がありました。エゾサンショウウオの幼生が群れを成す池、巨大な日本ザリガニ、キベリタテハなどのチョウ類の吸水。河原の砂地にはアリジゴクが罨を張り、美しいハンミョウが飛び交う様子など。私はお花にあま詳しくないですが、ウメバチソウの花と、花はないがユウバリタンポポがたくさんあるのはわかりました。味をしめた私は、7月〜9月の間毎週末白金川を訪れ、蛇紋岩を求めて奥へ奥へと足を延ばし、道すがら、白金川の自然を堪能したのでした。



かつて白金川にあった夕張岳ヒュッテと登山道。昔の地質図には、白金川上流部にヒュッテがあります。資料には、夕張岳の登山者が森林鉄道を利用していたとあります。(北海道ファンマガジン 201307)昔は、森林鉄道に乗り、夕張岳ヒュッテで体を休め、白金川を遡って夕張岳に登っていたのかもしれない。調べてみたところ、国土地理院の航空写真(1977年)に、地質図上のヒュッテの位置に建物が写っていることがわかりました。森林鉄道終点は「三股」と言いました。昭和37年発行5万分の1地形図「石狩鹿島」には、白金川に特殊軌道線があります。その終点は白金川が3本に分かれるところからです。

先ずの航空写真には、ここにも建物が写っており、ヒュッテと合わせて行って確認せねばと思っっています。図2に、探検でわかった情報の一部を載せておきます。

今後のスケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
6	5日(日)	自然保護連合代表者会議
	12日(日)	第1回パトロール(ロープ張り)
	18日(土)	ヒュッテ開き
	26日(日)	第2回パトロール
7	7日(木)	官民合同パトロール兼第3回パトロール 前岳湿原木道整理事業(端材撤去開始)
	24日(日)	第4回パトロール
8	7日(日)	第5回パトロール
	28日(日)	第6回パトロール 前岳湿原木道整理事業(撤去跡修復準備)
9	3日~24日	前岳湿原木道撤去跡修復作業
	25日(日)	第7回パトロール
10	8(土)~9(日)	ヒュッテ冬囲い準備① 登山道笹刈り
	15(土)~16(日)	ヒュッテ冬囲い準備②(予定)
	22(土)~23(日)	ヒュッテ冬囲い準備③(予定)

※新型コロナウイルス関連の国や北海道などの緊急事態宣言や要請により、予定は変更や延期になる可能性があります。

第34回定期総会書面評決結果

2022年度「第34回ユウパリコザクラの会定期総会」は、集合形式の総会を取りやめ、郵送による書面評決の議決とさせていただきます。

総会資料送付総数 134件（うち2件未配達：転居など）各議案の評決結果は棄権1件、未記入2件、他は各議決とも賛成のご回答をいただきました。

また、以下資料にいくつかミスがありましたので訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

・寄付一覧

8/18 北広島 新井様 ¥5,000 記載漏れ。
(科目入力違いの為、販売収入に計上)

・活動計画

6/26(日) 第1回パトロール → 第2回パトロール
最下行 蓄積を開始予定 → 開始。

・議決案以外

役員体制表(案)の内容が一部間違っておりました。



風呂の炊き口まで掘っている図

おまけにせり出した雪で煙突もへし折られる始末。なんとかトイレへの階段を掘り、ストーブを焚けるまで修復し次回につなげた。
4月は好天の下、駐車場バイオトイレの雪を下ろし、トイレの屋根とそれにつながった雪壁を崩し、おまけに風呂の炊き口まで掘り出した(何もそこまでしなくても後1ヶ月もしたら解けるのに・・・)

屋根の雪が繋がりに、風呂の窓も埋もれ、雪壁になっていた。



今年の雪下ろしは、スノーモービルの修理や札幌の大雪が重なり、3月5~6日と4月2~3日で行なった。
コロナ禍でもあり、広くは募らなかつたが3月5人、4月9人の精鋭が集まった。風向きの影響か炊事棟北西側とトイレの

「今年の雪も凄かった」

秋元 和之

会費の継続納入・ご寄付
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール(道委託/森林管理署協定)
- ・ヒュッテ管理人・維持管理(夕張市委託)
- ・高山植物観察員/文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流/広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理
と炊事棟建設にご支援を！



今年度は北海道も2度の緊急事態宣言の発動がありました。夕張市からの要請もあって宿泊予約を自粛していた時期も多く、宿泊協力金も大幅減となりました。しかしヒュッテの募金箱や募金口座などにたくさんの温かい寄付をいただきました。来年度に残る行事が無事できるように、新型ウィルスの終息を願いたいと思っております。



名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

(ヒュッテ用口座はコザクラ口座に統一されました)